

三鷹ネットワーク大学 オープンセミナー

Zoom講座

- (1) 元国立感染症研究所室長が語る
新型コロナウイルス感染症との戦い方
—21世紀型 パンデミックと人類・社会のこれから
加藤茂孝(保健科学研究所学術顧問、元国立感染症研究所室長)
- (2) 新型コロナウイルスと
国際政治
—国際保健協力の歴史と
今後の課題
詫摩佳代(東京都立大学法学部教授)



第一線の知識を地域社会に還元することを目的として、オープンセミナーを開催しました。誰でも参加できる無料のオンライン公開講座で、コロナ禍を背景としたタイムリーな話題を第一線の専門家に解説してもらいました。

新シリーズ始動!

サイエンスフロントMITAKA—最先端科学を楽しむ

NPO法人科学宅配塾(当時の賛助会員)と連携し、2009年から開催してきた人気講座「もっと科学に親しもう!」は、2020年に119回目の講座を最後に終了しました。



2021年度は、後継講座として、監修者に山崎泰規さん(理化学研究所名誉研究員)を迎え「サイエンスフロントMITAKA」を新たに企画しました。新型コロナウイルス感染症の拡大防止と、幅広い方が受講できるようにオンライン開催を基本としています。様々な分野の第一線で活躍する科学者が、最先端の研究成果をわかりやすく紹介し、受講者と意見を交わすことで、科学の考え方に親しんでいただける時間をお届けします。

みたか市民協働ネットワーク共催講座

三鷹「まち活」塾 第4期

「好きなコト」「できるコト」「やりたいコト」×「まちのデザイン」

NPO法人みたか市民協働ネットワークとの共催講座で、2021年度に4期目を迎えました。2020年度は、残念ながら新型コロナウイルス感染症の影響により開催を中止しましたが、2021年度は定員を25人に減らし感染症対策を講じたうえで、全10回の講座を無事に開講することができました。

最終報告会及び修了式は「第20回みたか市民活動・NPOフォーラム」内で行い、多くの皆さまにご覧いただくことができました。1~3期の修了生も含めて、多彩な「まち活」実践者の活動とネットワークが市内外に広がっています。



Zoom講座

くらしとバイオプラザ 21 企画講座

サイエンスカフェみたか

賛助会員と連携した企画サロンです。多彩なテーマで講師をお迎えし、サイエンスについてわかりやすく講義いただきながら、講師と受講生のコミュニケーションを大切に実施しています。新型コロナウイルス感染症予防の観点から、2021年度もオンラインにより開催しました。

Zoom講座

くらしとバイオプラザ 21 共催講座、中外製薬株式会社協力

中外製薬キッズラボ—身近な食物からDNAをとりだそう

賛助会員のくらしとバイオプラザ21と共催し、中外製薬株式会社の協力のもと、小学生向けの講座を開催しました。午前・午後、それぞれ10組の枠は募集開始とともに満席となるほど好評でした。

参加した小学生の皆さんは、実際にバナナや鶏肉からDNAを取り出して観察しました。



Zoom講座

(一社)ビューティフルエイジング協会寄付講座

人生100年時代を考える

賛助会員の寄付講座で、高齢者から若い世代の方々へ「学び方」「働き方」「生き方」を考えていただく機会を提供しています。2021年度も新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、オンライン開催も織り交ぜながら開講しました。

Zoom講座

三鷹市星と森と絵本の家共催講座

おとな絵本ラウンジ

「おとな絵本ラウンジ」は、絵本を介したコミュニティ形成を目的として、2013年から実施している講座です。絵本の情報を共有して楽しむ「トークラウンジ」、講演や絵本にまつわるワークショップを行う「レクチャーシリーズ」、絵本を通して人と出会う「おとな絵本パー」と内容を分けて開催しています。新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、オンラインによる開催や会場での定員を40人から20人に減らしながら実施しました。



Zoom講座

みたか都市観光協会企画講座

大人のための音読講座

三鷹ゆかりの作家・作品たち

この講座は、フリーアナウンサーで朗読家の原きよさんを講師に招き、太宰治をはじめとした人気の名作から多くの方に知られていない作品まで幅広くとりあげ、講師による朗読と参加者が音読するワークショップ形式で実施しています。2010年に開始したこの講座は、2021年度に100回目を迎えることができました。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対策として、受講者の間隔を十分に確保しながら、マスクをしたままで音読しました。

Zoom講座

キャリア・コンサルティング

—幸せに生きるためにカウンセリングを受けてみませんか

時代が急速に変化していく中で、「幸せに生きる」ためのキャリア・プラン、ライフ・プランを考える講座です。

キャリア・コンサルティングの考え方に関する講義と、個別カウンセリング、ワークシート作成を行います。ご自分のワーク・ライフ・バランスや仕事を通しての生き方考える機会にしてみてください。

Zoom講座

心のライティングとは

—自分を知り、育てるための文章創作ワークショップ

ジャーナリストでノンフィクション作家の大塚敦子さんが講師を務めました。書くことをとおして自分の本当の気持ちに気づいたり、新たな自分を発見したり、もやもやした感情を整理するなど、自分自身を深く見つめる経験ができる、ワークショップを中心とした5回の連続講座です。

Zoom講座

中央線沿線の文学風景II

「山口瞳から多和田葉子まで

—国分寺・国立・八王子周辺

昨年引き続き、「中央線沿線の文学風景」を開催し、座学のみ2回のコースと、散策を加えた3回のコースに分けて実施しました。今年は国分寺から八王子周辺に焦点をあて、散策では、JR南武線矢川駅から大学通りを経て中央線国立駅までを散策し、文学作品の舞台を巡りました。



みたか身の丈起業チャレンジ2021

あなたのビジネスプランを磨こう!

「独立」や「起業」に関心がある方や準備中の方を対象とした本講座は、「ビジネスプラン演習」に重きを置いた全9回の連続講座(オンライン講座5回、教室4回)で構成され、座学とビジネスプラン演習を実施しています。また、講師の教えから学ぶだけでなく、「アフター・コロナ」を視野に複業や独立を考え、受講者同士が双方向で学びあうサロンの性質を併せ持っています。



三鷹の夜☆月いち読書会

本好きのつどい、科学と文学の間(あわい)に

4月から毎月1冊の本を楽しむ読書会を始めました。国内外のSF小説を中心に科学エッセイなど幅広く取り上げる内容で、選書・進行役は編集者・ライターの高木太郎さん。コロナ禍で中止などもありましたが、これまでにケン・リュウ「紙の動物園」、高山 羽根子「首里の馬」、コニー・ウィリス「最後のウイネベゴ」などを読んできました。すこし非日常の世界に遊ぶ、本好きのつどいです。

2021年度 三鷹まちづくり総合研究所「まちづくり研究員」

2年目に突入した「まちづくり研究員」事業では、19組、合計27人に「まちづくり研究員」を委嘱しました。地域ケア・観光・都市農業・市民参加など多様なテーマの研究を会員大学の協力を得ながらサポートしています。コロナ禍において、研究に必要となる研修や研究員同士で討議する月1回の「まちづくりラボ」などをオンラインで実施しています。年末には中間報告会を予定、来年3月末が論文の提出期限です。

研究員 研修

- 6月30日 「社会調査法の基礎」小林盾(成蹊大学教授)
- 7月3日 「論文を書くということ」進邦徹夫(杏林大学教授)
- 7月16日 「アカデミック・ライティング」小澤伊久美(国際基督教大学上級准教授)
- オンデマンド 「三鷹市のデータについて」三鷹市企画部企画経営課

◆まちづくり研究員アドバイザー
進邦徹夫(杏林大学教授)、西尾隆(国際基督教大学特任教授)、小林盾(成蹊大学教授)、金子和夫(ルーテル学院大学教授)、有末賢(亜細亜大学教授)、仲北浦淳基(大正大学専任講師)

2021年度「民学産公」協働研究事業

成果報告会 3月4日(金)
詳細はHPをご覧ください

協働研究事業は、民学産公の連携による知的資源を活用し、研究成果が社会・地域に貢献することで市民生活が豊かになることを目的としています。今年度から「まちづくり研究員」の募集枠を設けました。研究の成果を論文による提言だけで終わらせることなく、その実践に取り組みてもらっています。2021年度は以下の8件が採択され、現在、実証実験等を行っています。3月には一般公開により成果報告会を開催します。ぜひご参加ください!

Aコース	「車内感染対策の効果想定&『まいど(MAIDO)』プロジェクトII」	境交通株式会社
助成の上限: 50万円	「動物たちが語るSDGs 『三鷹! 動物かんきょう会議』(三鷹モデル)の開発と三鷹市での再現実証の研究」	株式会社ヌールエ デザイン総合研究所
助成率: 50%	「三鷹市における在宅シニアケアを中心とした スマート・コミュニティ・プラットフォーム構築に向けた研究」	アーキプランニング株式会社
Bコース	「学校を核としたコミュニティ形成と防災教育の学習プログラムの開発に関する研究」	国立大学法人 東京学芸大学 総合教育科学系 代表: 柴田 彩千子
助成の上限: 15万円	「アート・コミュニケーション事業の社会的意義についての一考察 —対話型鑑賞ワークショップの実践を通じて—」	まちづくり研究員 中嶋厚樹
助成率: 100%	「TAKA-1からTOKYO-1への実証研究」	法政大学地域研究センター
	「新様式のアートコミュニケーション活動を市民活動のまちづくりコミュニケーションに役立ワークショップや ツールに仕上げていく研究事業—緑豊かな「子どもの森」市民(案)づくりでテスト利用する」	まちづくり研究員 林賢
	「『みたか100年の森』の基盤やプラットフォームの形成」	まちづくり研究員 ルモアン直美